



ものづくり広報

「元気な企業」～その経営ヒントを探る～

ものづくり広報6月号特集「市内中小企業最前線レポート」では、逆境の時代だからこそプラス思考で、やがて咲く大輪の花を信じて、種まきから水やりに至るまで地道な取り組みを続けてきた市内中小企業の現況をお伝えしました。今回の特集では、その内の3社に再度取材を試み、積極経営の発想の原点など、一歩突っ込んだ経営のヒントを探りました。

※取材協力企業：東海醸造株式会社（みそ・たまりの醸造）、アサヒ化工株式会社（プラスチック成形）、株式会社南条製作所（大型機械加工・切断加工）

取材結果サマリー表

	東海醸造(株)	アサヒ化工(株)	(株)南条製作所
種まきの原点	<ul style="list-style-type: none"> ○食の安全安心 ○地産地消 ○高品質・差別化 	<ul style="list-style-type: none"> ○脱下請け ○ニッチ・差別化 ○国内で勝負 	<ul style="list-style-type: none"> ○オンリーワン ○特殊加工技術の特化 ○チャレンジャー精神
種まきの内容	<ul style="list-style-type: none"> ○地元産食材の活用 ○補助金の積極活用 ○工場見学（現場の見える化） 	<ul style="list-style-type: none"> ○金型内製化の取り組み ○業種拡大（ディスプレイ業界） ○販路開拓（通販にチャレンジ） 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域拠点の拡大（鈴鹿・関東・東北） ○地元雇用の創出 ○加工技術の拡大進化（3年ごとに新技術を獲得）
大切なものとは	<ul style="list-style-type: none"> ○生産者とのつながり ○消費者とのふれ合い ○食文化の継承 	<ul style="list-style-type: none"> ○信頼できるスタッフとの出会い ○小ロットで勝てる生産体制の追及 ○弱者の戦略に学ぶ（ランチェスターの法則） 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的な設備投資（オリジナル性の付加） ○従業員の団結力 ○夢を持ち続ける発想

以上の取材結果から、3社に共通することは、

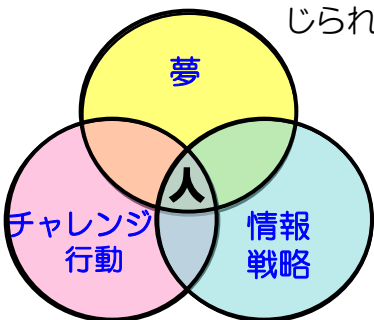
- 社会を少し斜めから冷静に観察し、常識に対して常に疑問を持って出口を追求する姿勢。夢を描き続け、己の信念にまっすぐに従う強固な意思、リーダーシップがうかがえます。
- だれもが面倒だと手を出さなかった仕事について、「自分の夢を実現するにはこれだ！」と、独特の嗅覚を持って情報をキャッチし商機につなげる先見性と、己の武器に仕立てる柔軟性を併せ持つことの大切さが見てとれます。



大正時代から使い続けているみそ桶（東海醸造(株)）

円型現場組立タンク製造（(株)南条製作所）

- 新技術の導入、先行的な設備投資、販路の拡大、補助金の活用など市場の変化を先取りし、「今こそチャンス」と、積極的に業容拡大を図ろうとするチャレンジ精神、行動力の必要性が感じられます。



「現状脱皮」のキーワード

そして、経営者が最後に共通してその重要性を説くのが「人」です。自社従業員、取引先、生産者、顧客など、その関わり方はさまざまですが、自分を取り巻く人に助けられたからこそ、今の自分や自社が存在するといった感謝の念を抱いています。

国の政策に左右されることなく、人とのつながりを大切にし、地道に日々自ら汗を流して種をまき、育てる行動力が今の時代に求められることを痛感させられる取材となりました。

◆若社長紹介



(株)オーテック・鈴鹿 代表取締役 大内田 実 47歳

「そこにサーキットがあるから！」と夢を求めて、平成8年に2輪モータースポーツのパーツ屋として起業。スタート時こそ順風満帆に思えた事業も、競合の世界が待ち受けていた。地獄からはい上がるには武器を持つしかない、当時商工会の経営革新勉強会に参画し、やるべきことが明確になったと語る。

学生メカニックをピットに迎え、プロと一緒に協働作業をやり切るオーテック鈴鹿の8耐レース活動には隠れファンが多く存在する。死闘の8時間。そこでしか学べないレーススピリッツを体験させることは、逆境時に役立つと毎年続けている。好きで大切な言葉は、レースで培った「己を信じ 仲間を信じる」。この言葉は経営方針にもなっている。

平成16年に鈴鹿市がモータースポーツ都市宣言をしたことに触れ、なにが何でもサーキットがにぎやかになって欲しい。盛り上げるためにも、ものづくり企業として、何でもしたいと力強く語る。果たして今年の8耐の結果は・・・

オートバイパーツ製造・販売
住所 鈴鹿市住吉町6729-7
TEL 059-370-7135
FAX 059-370-7136
info@otec-suzuka.net

◆活動事例紹介

○テーマ：原価低減活動の進捗管理

○企業名：旭千代田工業株式会社 鈴鹿工場 ○担当支援者：楠アドバイザー

当工場は自動車、電気機器、建設機械、金型、治具などの金属部品の表面改質処理（耐摩耗性、耐焼付き、耐食性）を行い、廉価材の利用、処理後の加工レスなど、機械加工の幅広い分野で活用されています。

600℃弱の温度と特殊な処理剤で処理が行われ、エネルギー費用、原材料費の比率が高いのが特徴です。今回の活動では、**原価低減活動の定着、人材育成、効果検証（製造費用との連動）**の3つの課題について、工場長を責任者に3グループを主体にした原価低減活動を展開しました。

途中テーマ廃案による追加再発掘などの苦労はありましたが、**原価低減提案シート、展開の見える化、月2回の進捗確認会**などの地道なアイデアと施策の実行で、原価低減計画比112%の達成が図られました。



金属の表面改質処理

◆ものづくり産業支援センター 「人材育成」活動の紹介

人材育成では、講義とグループ活動および市内の中小企業を訪問して行う現場確認など、独自のカリキュラムで実施しています。さらに個人テーマについては、計画から実施までフォロー講師がお手伝いします。

※実施している研修には、「集合研修」と「出前研修」の2種類があります。

1. **集合研修**・・・ものづくり産業支援センターで開催する研修

【平成25年度実績】

	対象	開催時期と日数	受講者人数
ベーシック研修	新入社員および入社歴の浅い従業員	4月：計3日	23人
リーダー研修	リーダークラス	5～7月：計9日	19人



鈴鹿高専での実習の様子

※管理職クラスを対象としたマネジメント研修は、今秋より実施予定です。

受講者人数実績（平成25年度まで）

2. **出前研修**・・・市内の中小企業に講師が出向いて行う研修です。目的と受講者のレベルに合わせて、カリキュラムを事前に整合し、実施します。

最近はお出前研修を要望される企業が増えています。ぜひご活用ください。

		実施回数	社数	人数
集合研修	ベーシック	4回	26社	95人
	リーダー	9回	47社	192人
出前研修		13回	7社	169人
		合計	(52社)	456人